

【店頭FXの自動ロスカット・追証・レバレッジ規制ルールのおまとめ】

	(1)自動ロスカットルール	(2)証拠金管理ルール		(3)レバレッジ規制	
	自動ロスカット	追証		証拠金残高不足	法定預託金不足
		総額	現金		
発生条件	建玉に一定の損失が発生	店頭FX証拠金 < 必要証拠金	店頭FX証拠金現金 + 評価損益等 < 0	店頭FX証拠金現金 < 0	店頭FX証拠金(時価) < 法定預託金
発生要因	評価損拡大 (アクション後は実現損)	代用評価の下落	評価(決済)損拡大	決済損発生	評価(決済)損拡大 または、 代用評価の下落により (受入証拠金 + 評価(決済)損益 - 諸経費) ÷ 法定預託金 < 100%となった場合
対象建玉	個別	全体	全体	-	全体
アクション	逆指値注文約定	全建玉決済 全未約定注文取消し	全建玉決済 全未約定注文取消し	証券口座(預り金)から 強制振替	全建玉決済 全未約定注文取消し
判定頻度	常時	1回/当社営業日	1回/当社営業日	1回/当社営業日 (FX取引画面では即通知)	1回/当社営業日
解消アクション					
(リアルタイム)	-	現金もしくは代用差入れ	現金差入れ	判定後はなし	・現金もしくは代用差入れ ・未約定の新規注文取消 ・保有ポジションの全部または一部を決済
(判定翌営業日朝)	-	決済、注文取消し、 代用評価上昇	決済	-	-
(判定翌営業日15時)	-	決済、注文取消し	決済	-	-
判定からアクションまでの時間	なし	通知した翌営業日15時	通知した翌営業日15時	-	通知した当日19時 (日本の祝日含む)
特記事項	・複数建玉保有 自動ロスカットレベルに達した建玉のみ執行 ・証拠金の過不足に関係なく執行	-	発生条件の評価損益等とは、「評価損益 + スワップ損益 - 諸経費」	アクションの結果、預り金が不足になると、15時時点で立替金発生	・法定預託金は 新規建て時の為替レート × 取引数量 × 4% ・不足金確定後は、評価損益の改善や代用評価の上昇で解消しない
上記 ~ はそれぞれ独立したルールであり、同時に発生することもあります					
イメージ図	<p>建玉評価損益 100% 約20% (逆指値) 複数建玉A B保有ケース Bのみ約80%の損失レベルで逆指値注文約定</p>	<p>必要証拠金 代用現金 現金 or 代用で差入必要</p>	<p>必要証拠金 代用現金 現金で差入必要</p>	<p>代用現金 実現損 証券口座から強制振替 (リアル口座振替) ↓立替金発生</p>	<p>法定預託金 代用 + 現金 法定預託金 代用 + 現金 現金 or 代用で差入必要</p>